上野彦馬とその時代

姫野順一

⑨ 幕末の在留中国人

来崎した「満州人」と道士

上野彦馬が撮影した写真は旧家からバラで発見されることが多い。「幕末明治期長崎来訪人物写真集」（長崎大附属図書館武藤文庫、51点）と「上野彦馬撮影局―開業初期アルバム」（江崎鼈甲店、188点）の2冊のアルバムは、幕末に彦馬が撮影した人物と風景のポートフォリオ（写真集）として貴重である。写真には時間と空間を超えて137年前、長崎に在留した唐商や道教道士も写されている。

安政6（1859）年の長崎開港で銅や俵物（輸出海産物）の貿易特権を失い、非条約国民となって唐館に残留した中国人は約300人。開港後家族を呼び寄せたり、帰国したり、唐館を抜け出して「外人附属」として広場馬や大浦外国人居留地に進出する者もあった。「長崎県居留各国人員録」（長崎歴史文化博物館）によれば、慶応2（1866）年の在留中国人は236人で、外国人の59%を占めた。

①彦馬のスタジオで撮影された中国人男性（長崎大附属図書館蔵）

▼旗　袍

写真①は、彦馬のスタジオで撮影された中国人男性の正装姿である。背景の白い衝立や台柱、棚は、慶応2年4月ごろに撮られた高杉晋作の写真と同じものであるから、同じ時期の撮影とみられる。

満洲人は、モンゴルの民族衣装である騎馬型のデールを模して自分たちの衣服を作った。旗袍（チーパオ）と呼ばれた満州服である。明を滅ぼした満州族は、八旗と呼んだ軍事・民政制度をつくり、貴族を旗人（チーイエン）とし、漢人男性には漢服着用を禁止し、弁髪と満洲服の着用を義務づけた。漢人は抵抗したが、清朝中期になると機能的な満州服に漢服を融合させ、清末には装飾性を強めるまでに普及した。

旗袍は旗人の「長い上着」である。詰め襟は防寒のため、横のスリット（切り込み）は乗馬で足を横に開き、前からの風を防ぐためである。頭に瓜皮帽（グワビーマオ）という弁髪帽をかぶり、袍褂（パオグワ）と呼ばれた上着を羽織る。雲鞋（フトフリ・サブ）と呼ばれた短靴を履き、右手に扇子をかざしている。

②正装の中国人女性（長崎大附属図書館蔵）

③正装の中国人母娘（江崎鼈甲店蔵）

▼正　装

写真②は、女性の満州服による正装である。長い上着の袍（シジギャン）に褂（クルメ）を重ね、無袖長褂の野外用上衣である馬褂（オルボ）を上に羽織っている。手に持つのはハンカチであろうか。

清朝宮中の女性は、髪は高く結い上げる旗頭（チートウ）にし、足にはヒール付きの装飾されたラッパ形の旗鞋（チーシエ）を履いていた。だが、この女性は髪を結わずに弁髪帽をかぶっているので、庶民であろう。ちなみに満州族には足を縛って細くする纏足の風習はなかった。

写真③は、袍と褂で正装した中国人母娘である。漢人女性は漢服を認められていたが、旗人をまねて旗装を着るようになっていた。

辛亥革命後の1920年代、洋服を旗袍風にした詰め襟ワンピースにスリットが入った細身のチャイナドレスが登場する。30年代には解放的な思想の影響で、スリットがももの辺りまで深くなっていく。

▼道　袍

写真④は当時、長崎に滞在した道教の道士（タオシエ）である。中国の伝統宗教である道教に帰依し、その活動に従事する士である。男性は乾道（チェンタオ）、女性は坤道（クンタオ）と呼ばれた。着衣は漢服を簡単にした道袍（タオパオ）で、頭巾をかぶり、足には雲履（ユンルユ）という下履きを着けている。腰のひょうたんは薬つぼで、手に煩悩を払う払子を持ち、背に邪気を払う剣を背負う。

写真⑤では、同じ道士が、冬に花を咲かせて人を喜ばせ、「ゆかしさ」「慈しみ」の花言葉がある蝋梅を手にかざしている。

神仙思想の道教は、修業で不老不死の霊薬である丹を作る霊丹術を用いて仙人になることを理想とし、宇宙と人が一体化した「道」を目指す。古くから日本に伝わり、風水、気功、鬼、修験道や民間の信仰習俗である庚申信仰、中元、お守り、浦島太郎伝説などで影響を与えている。

道教の中でも北方系全真教の道士は出家して頭髪を束ね、ひげをたくわえ、精進料理を食べ、修業を重んじた。一方、南方系の正一教は道士が出家せず、ひげをそり、護符を書き儀礼を行ったとされている。この写真の人物は幕末に来訪した正一教の中国人道士と思われる。

文政2（1819）年の「長崎先人伝」（盧麒著）は、享保11（1726）年に大江宏隆が田上に道観（道教の寺）を構えたと記している。文化文政期（1804～30年）の「長崎名勝図絵」（饒田喩義著）では、崇元観（道観）の跡は不明とされており、道教の寺は断絶していたとみられる。この道士は幕末に中国から新たに長崎に来訪したようである。

④道教の道士（長崎大附属図書館蔵）

⑤蝋梅を持つ道士（江崎鼈甲店蔵）

（長崎外国語大学長）

＝偶数月の第3日曜付サンデーぶんかに掲載＝

長崎新聞 2023（令和5）年8月20日掲載